

角高だより

HP <http://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp



宮城県角田高等学校
〒981-1505
宮城県角田市角田字牛館1
☎ 0224-63-3001
FAX 0224-63-0523

1年角田商店街調査ポスター発表会

2月10日(水)に1年生による角田商店街調査のポスター発表会を本校体育館で行いました。今年度も角田商店街の24店舗を訪問してインタビューを行い、その商店とその業種を取り巻く問題点を考察してポスターにまとめて発表しました。例年は商店街訪問でお世話になった商店の方に対して発表会の案内状をお渡しして研究の成果を見ていただいていたのですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、密になることを避けるため案内を出すことを断念しました。先月2年生の課題研究発表会で先輩方の発表の様子を見学していた1年生はそれを参考にしながら自分たちの調査結果を発表していました。やはり2年生に比べると研究内容や発表の仕方には改善の余地がありましたが、今回の研究発表の反省を生かして来年度の課題研究につなげてほしいと思います。また、今年度は5人の先生方も自分の研究発表を行いました。普段の教科書を教える授業と違って、「フェアトレード」や「和算」といったまさに現代社会や歴史に深く切り込んでいった本格的な「課題研究」であり、多くの1年生が熱心に拝聴していました。最後に講評委員をお願いした角田市教育委員会生涯学習課の佐藤克宏様より講評をいただき、探究活動の重要性について話していただき、大いに励まされました。本格的な研究発表の経験は次の発表にも生かしていけるものと思います。



1年次 総合的な探究の時間 1組
研究テーマ
愛され続ける町の文房具屋

1なぜこのテーマを選んだのか

大型店やスーパーマーケットで文房具の取り扱いが増える今、いとや商店さんにお客さんが減らず、角田市民からなぜ長年愛されているのを知りたかったのがこのテーマになりました。

2 多くの人はどこで文房具を買うのか

町の文房具店の魅力とは？
普段、文房具を100円ショップやホームセンターで購入している人が多いことが分かります。いとや商店さんのような、町の文房具屋さんは、6番目です。
町の文房具屋さんの最大の魅力は、個人経営で小規模であり、「〇〇を取り寄せてほしい」等の注文がやりやすいという面です。また、廃盤になった商品も置いてあり購入することができます。小さな文房具屋さんも大切にしていきたいですね。
[引用] stapul.com URL: <https://stapul.com/>
いとや商店さんのお客さんの傾向は、どの年代も筆記用具が一番の売上が多く、学校等の大手からの注文も頂いているようです。
また、いとや商店さんは時期ごとに陳列を変えたり、仕入れの際に特徴が壊れないようにするなど様々な工夫をされています！

3 いとやクイズ

Q1いとや商店は何年創業でしょう？
①1914年 ②1990年 ③1948年
Q2文房具屋になる前何者でした？
①動物 ②駄菓子 ③糸
Q3文房具の仕入れ基準は何でしょう？
①お客さんのニーズ ②人気 ③奥さんの好み

まとめ

今回、いとや商店さんに訪問させていただいて初めて知ったことがたくさんありました。身近で通いやすく、ネットや大型店にはない町の文房具屋さんのならではの、お客さんのニーズにあわせて工夫がたくさんありました。皆さんぜひいとや商店さんに足を運んでみてください！

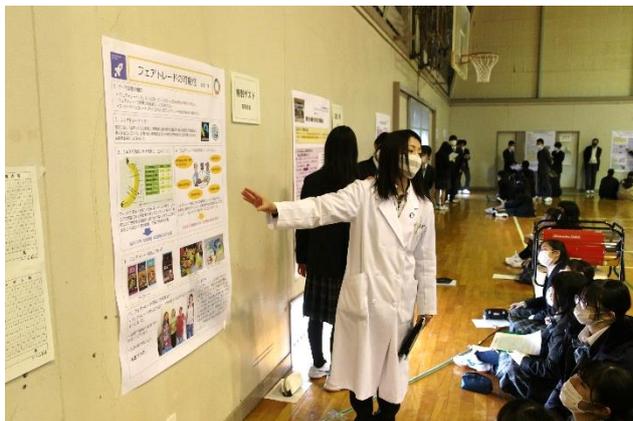
「いとや」を訪問した3組1班のポスター



石垣葵教諭による「フェアトレード」の発表



山岸圭太教諭による「和算」の発表



ドーバー高校とのオンライン交流会

1月30日(土)に、アメリカデラウェア州にある姉妹校のドーバー高校と、オンライン会議ツールZOOMを活用し、座談会を実施しました。本校からは12名の生徒が参加しました。事前学習では、質問事項や自分の意見を英語でまとめたり、ペア形式で会話の練習を行ったりしました。座談会当日、ドーバー高校生からは、年末年始の過ごし方や新型コロナウイルス感染症による生活の変化等についての紹介があり、その内容に基づいて、自分の経験を伝えたり、意見を交換したりしました。

生徒たちは、最初は不安や緊張を感じていたようですが、やり取りを行うにつれて笑顔が増えていきました。また、プレゼンテーションや意見交換をとおして、日本とアメリカの共通点や違いについて理解を深めていました。参加した生徒は、英語で伝えることの難しさだけでなく、少しでも聞き取れたり即興で英語で答えられたりしたことへの嬉しさを実感したようでした。そして、英語や外国への関心が深まり、もっと英語力を向上させていきたいと、英語学習への意欲が高まったようでした。



「かく大学」第1期最終報告会



角田市教育委員会 生涯学習課 主催の「かく大学」に本校1年生の佐藤陽菜(北角田中出身)と黒須大輝(金津中出身)が参加しました。「オモイをカタチに」をテーマに3回の企画構想を経て、1月24日(日)に一般の方々を前にして、最終報告会を行いました。佐藤陽菜は、ジュニアリーダーの経験から子供たちを対象とした「自然と遊ぼうプロジェクト」の企画を、黒須大輝は山形県遊佐町の少年議会を参考に「角田市でも青年議会をやろうプロジェクト」についてそれぞれ提案しました。

